
J_Rename の説明書

初版

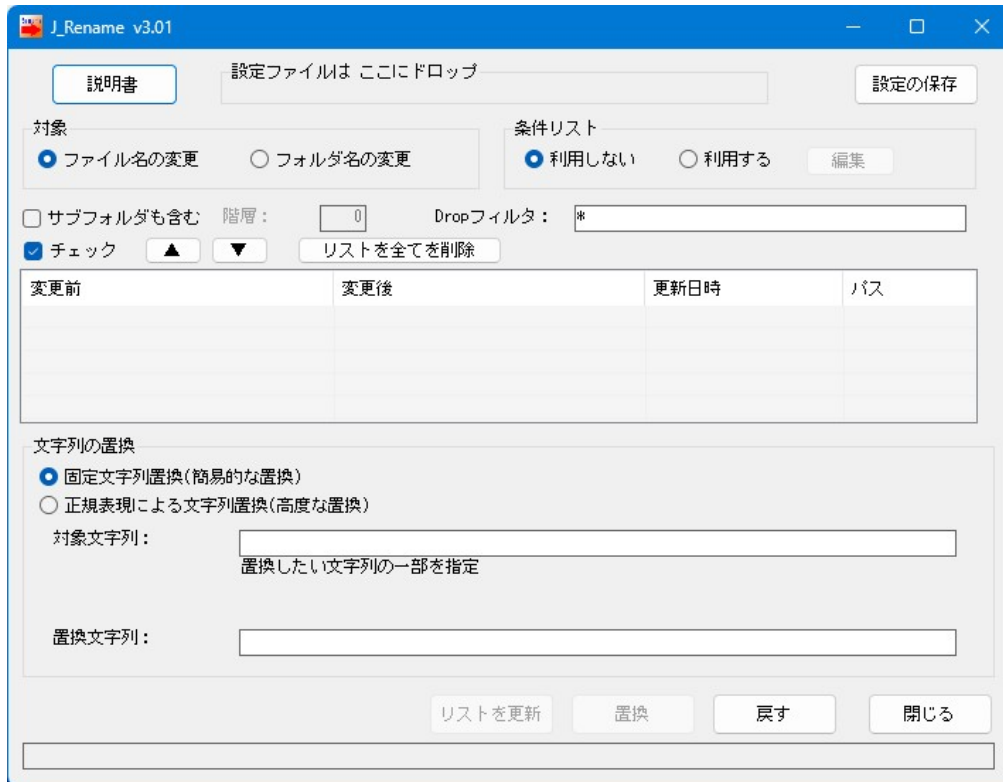
【アプリ名】	J_Rename V3.01
【動作環境】	Windows (Framework インストール済みの環境)
【機能概要】	ファイル名/フォルダ名を固定文字列/正規表現で変更するリネームアプリ。
【インストール】	ハードディスク上の適当なフォルダに展開し、exe ファイルを実行すると起動する。 アンインストールする場合、フォルダごと削除する。

【目次】

1.	アプリケーション起動の方法	2
2.	ファイル名を変更する場合の手順	3
3.	フォルダ名を変更する場合の手順	10
4.	条件リストでファイル名を変更する場合の手順	16
5.	設定ファイル	19

1. アプリケーション起動の方法

- 1) exe ファイルを実行するとアプリケーションが起動し、メイン画面が表示される。



<制約事項>

- ・ ファイル名変更の場合、拡張子のないファイルは対象外。
変更した後がファイル名または拡張子が空欄になる場合、ファイル名の変更はできない。
- ・ フォルダ名変更の場合、変更した後にフォルダ名が空欄になる場合、フォルダ名の変更はできない。
- ・ ファイル名/フォルダ名で禁則文字(「¥」「/」「:」「"」「<」「>」)への置換を指定された場合、全角文字に自動で変換される。
ただし、「"」の場合だけ「'」(半角)に変換される。
- ・ ファイル名/フォルダ名の変更で、リストにあるファイルの中に同じフォルダにあり、
変更の後が同じファイル名になる場合、ファイル名の最後に「(1)」のように自動で番号が振られる。
- ・ ファイル名/フォルダ名の変更で、リストにはないが置換ボタンを押したとき、既に同じファイル名/フォルダ名が存在していた場合、ファイル名/フォルダ名の最後に「[1)」のように自動で番号が振られる。

2. ファイル名を変更する場合の手順

ファイル名を変更するには**固定文字列の置換** or **正規表現による置換**で変更できる。

Step.1) 「ファイル名の変更」を選択する。

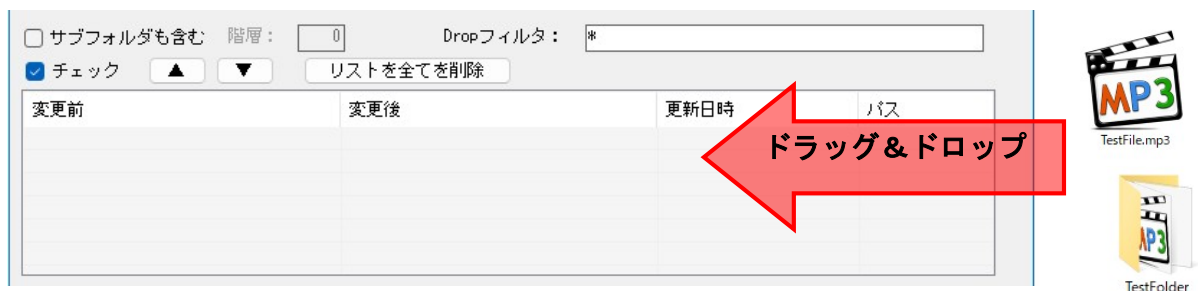


注意) ファイル名の変更⇄フォルダ名の変更の切り替えを行うとファイルのリストと変更の条件がクリアされる。

注意) 複数のファイルを複数の条件で一気に変更したい場合、条件リストを使用すると便利。

Step.2) 変更したいファイルをリストに登録する。

- ・Drop フィルタを指定すると、この後で対象となるファイルをリストにドラッグ&ドロップした際、Drop フィルタの指定条件に一致しないファイルはリストに登録されない。
- ・Drop フィルタはワイルドカードで表現する。(「*」「?」「[]」など)
- ・フィルタが「*」の場合、全てのファイルが対象となる。
- ・特別に変更するファイルの種類などが決まっている場合、「*.mp4」などと指定しても良い。
- ・条件が複数の場合、「*.mp4;*.mp3」など「;」で区切る。
- ・フィルタの指定は大文字/小文字は**区別しない**。
- ・テキストボックスで右クリックすると例題がポップアップメニューで表示される。



- ・「ファイル名の変更」を選択した状態で**フォルダ**をドラッグ&ドロップした場合、そのフォルダの直下にあるファイルのうち、フィルタに一致した**全てのファイル**がリストに登録される。
- ・「サブフォルダも含む」を ON の場合、そのフォルダ配下にあるフォルダ配下のファイルも対象となる。その際、階層の指定も可能。階層：0 の場合、無制限の階層。



- ・「フィルタ」はファイルやフォルダをリストにドラッグ&ドロップした時、フィルタの**条件に一致するファイルだけ**リストに登録させることができる。
- ・「フィルタ」欄で右クリックすると例が表示される。



- ・リストに登録されたファイルの**チェックが ON のファイルだけが**、置換の対象となる。
- ・登録されたファイルをリストから削除したい場合、ファイルを選択した状態で**[Delete]**キーを押すとリストから削除できる。

☒ チェック ▲ ▼ リストを全てを削除

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ testFile_01.txt		2026/06/29(月) 19:52	J:¥TestFolder¥

Step.3) 置換したい文字列を設定する。

◆「固定文字列置換(簡易的な置換)」を選択した場合

- ・ファイル名の該当文字列をそのまま置換する。
- ・文字列はファイル名の一部でも良い。
- ・「リストを更新」ボタンを押すと更新後のファイル名が表示される。
- ・「置換」ボタンをファイル名が変更される。

☒ チェック ▲ ▼ リストを全てを削除

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ TestFile_01.txt	AAA_TestFile_01.txt	2026/06/29(月) 19:52	J:¥TestFolder¥
☒ TestFile_02.txt	AAA_TestFile_02.txt	2026/06/29(月) 19:52	J:¥TestFolder¥

文字列の置換

☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)
☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)

対象文字列:

置換文字列:

◆「正規表現による文字列置換(高度な置換)」を選択した場合

- ・正規表現により、ファイル名を変更できる。
- ・拡張子も含めたファイル名がフォーマットと一致しないと置換できない。
- ・キャプチャした文字列は\$, \$2, ...でフォーマットに挿入できる。
- ・「リストを更新」ボタンを押すと更新後のファイル名が表示される。
- ・「置換」ボタンをファイル名が変更される。

☒ チェック ▲ ▼ リストを全てを削除

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ TestFile_01.txt	AAA_TestFile_01.txt	2026/06/29(月) 19:52	J:¥TestFolder¥
☒ TestFile_02.txt	AAA_TestFile_02.txt	2026/06/29(月) 19:52	J:¥TestFolder¥

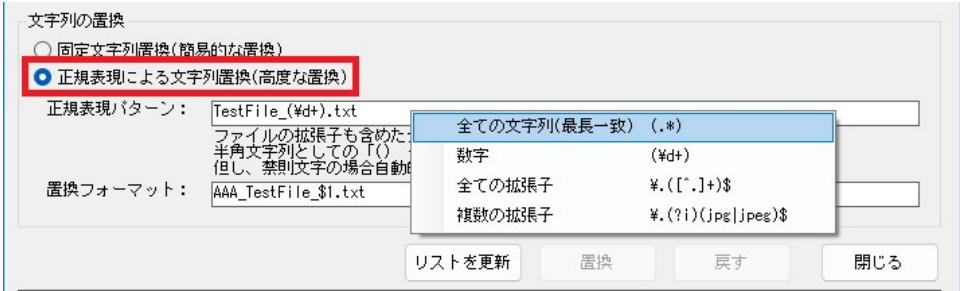
文字列の置換

☐ 固定文字列置換(簡易的な置換)
☒ 正規表現による文字列置換(高度な置換)

正規表現パターン:

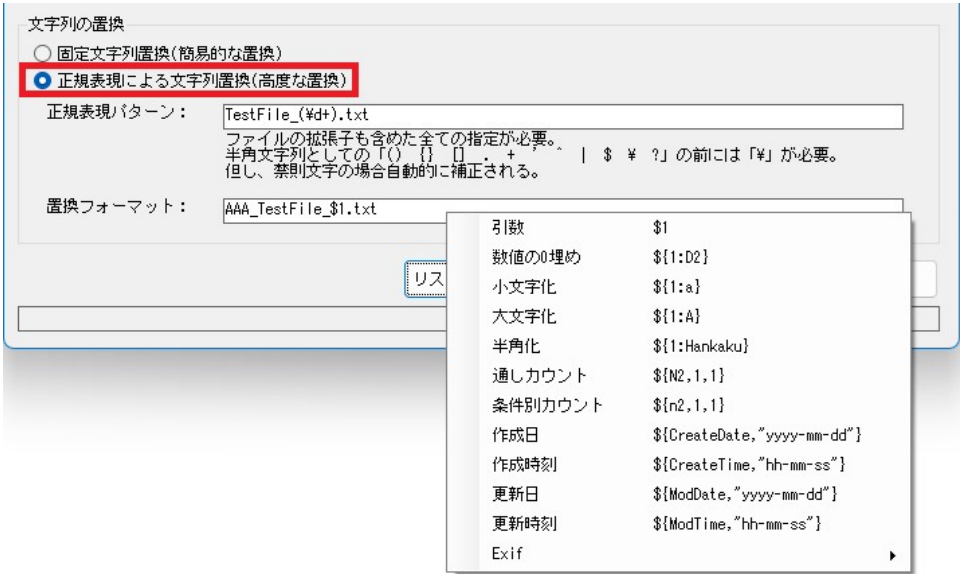
置換フォーマット:

・「正規表現パターン」欄で右クリックすると例が表示される。



リスト	挿入文字列	説明
全ての文字列(最長一致)	(.*)	全ての文字列が対象
数字	(\d+)	数字が対象
全ての拡張子	%.[^.]+'\$	「.」+全ての拡張子
複数の拡張子	%.(?i)(jpg jpeg)\$	「.」+「jpg」or「jpeg」の拡張子 (大文字/小文字を区別しない)

・「置換フォーマット」欄で右クリックすると例が表示される。



リスト	挿入文字列	説明
引数	\$1	\$1 に格納されている文字列
数値の 0 埋め	\${1:D2}	例は\$1 に格納されている文字列が 全て数値 の場合、2 桁の 0 埋め この条件に合わない場合、\$1 の文字列のまま
小文字化	\${1:a}	\$1 に格納されている文字列を小文字化
大文字化	\${1:A}	\$1 に格納されている文字列を大文字化
半角化	\${1:Hankaku}	\$1 に格納されている文字列を半角化 カタカナは対象外
通しカウント	\${N2, 1, 1}	例は 2 桁の 0 埋めで、開始番号=1 で加算=1 でカウント
条件別カウント	\${n2, 1, 1}	例は 2 桁の 0 埋めで、開始番号=1 で加算=1 でカウント ※1 メイン画面から指定はできるが、通常は使用しない
作成日	\${CreateDate, "yyyy-mm-dd"}	yyyy-mm-dd のフォーマットでファイルの作成日
作成時刻	\${CreateTime, "hh-mm-ss"}	hh-mm-ss のフォーマットでファイルの作成時刻
更新日	\${ModDate, "yyyy-mm-dd"}	yyyy-mm-dd のフォーマットでファイルの更新日
メーカー (Exif)	\${ExifMaker}	Exif 情報にあるカメラのメーカー名 Exif 情報がない場合空欄
モデル (Exif)	\${ExifModel}	Exif 情報にあるカメラのモデル Exif 情報がない場合空欄
F 値 (Exif)	\${ExifFNumber}	Exif 情報にある撮影時の F 値 Exif 情報がない場合空欄

※1 メイン画面から指定はできるが、通常は使用しない。メイン画面から指定すると通しカウントと同じ。

Step. 4) 変更後のファイル名を確認する。

- ・変更後のファイル名に禁則文字がある場合、全角文字に強制的に変換される。
ただし「/」(半角)は「/」(全角)に変換される。

☒ チェック
 ▲ ▼
 リストを全てを削除

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ TestFile_01.txt	Test_¥/ : '<>01.txt	2026/06/29(月) 19:52	J:¥TestFolder¥

文字列の置換

☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)

☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)

 対象文字列:

置換したい文字列の一部を指定

 置換文字列:

- ・変更後にファイル名または拡張子が空欄になる場合、エラーとなる。
その際、赤色でマークされる。
「置換」ボタンを押すとエラーのファイルは置換を行わない。

☒ チェック ▲ ▼ リストを全てを削除

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ TestFile_01.txt	[エラー; ファイル名または拡張子が空欄]	2026/06/29(月) 19:52	J:\TestFolder\

文字列の置換

☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)
☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)

対象文字列: TestFile_01.txt
置換したい文字列の一部を指定

置換文字列: .txt

リストを更新 置換 戻す 閉じる

- ・変更後のファイル名が複数同じになる場合、ファイル名の最後に自動的に「(1)」などの番号が付加される。
その際、黄色でマークされる。
ただし、ファイルの格納先が異なる場合、別番号を振り直す。

☒ チェック ▲ ▼ リストを全てを削除

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ TestFile_01.txt	TestFile_02.txt	2026/06/29(月) 19:52	J:\TestFolder\
☒ TestFile_02.txt	TestFile_02(1).txt	2026/06/29(月) 19:52	J:\TestFolder\
☒ TestFile_01.txt	TestFile_02.txt	2026/06/29(月) 19:52	J:\TestFolder\Sub\
☒ TestFile_02.txt	TestFile_02(1).txt	2026/06/29(月) 19:52	J:\TestFolder\Sub\

文字列の置換

☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)
☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)

対象文字列: TestFile_01
置換したい文字列の一部を指定

置換文字列: TestFile_02

リストを更新 置換 戻す 閉じる

- ・ リストにはないが変更した結果、既に同じフォルダに同じ名前のファイルがある状態で置換をした場合、ファイル名の最後に自動的に「[1]」などの番号が付加される。

Left Screenshot:

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ TestFile_01.txt	TestFile_02.txt	2026/06/29(月) 19:52	J:\¥TestFolder¥

文字列の置換

☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)

☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)

対象文字列: TestFile_01

置換文字列: TestFile_02

Buttons: リストを更新, 置換, 戻す

Right Screenshot:

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ TestFile_02[1].txt		2026/06/29(月) 19:52	J:\¥TestFolder¥

文字列の置換

☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)

☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)

対象文字列: TestFile_01

置換文字列: TestFile_02

Buttons: リストを更新, 置換, 戻す, 開じる

Red box text: J:\¥TestFolder¥ には TestFile_02.txt が既に存在している状態で置換を行う

- ・ 変更前と変更後のファイル名が同じになる場合、青色でマークされる。この場合、置換処理の対象外となる。

Left Screenshot:

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ TestFile_01.txt	TestFile_01_AAA.txt	2026/06/29(月) 19:52	J:\¥TestFolder¥
☒ TestFile_02.txt	TestFile_02.txt	2026/06/29(月) 19:52	J:\¥TestFolder¥

文字列の置換

☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)

☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)

対象文字列: TestFile_01

置換文字列: TestFile_01_AAA

Buttons: リストを更新, 置換, 戻す, 開じる

Step.5) 「置換」ボタンを押す。

- ・「置換」ボタンを押すとファイル名が置換される。
- ・「戻る」ボタンを押すと置換前の状態に戻す。

The diagram illustrates the file replacement process. On the left, a window titled 'チェック' (Check) shows a table with columns: '変更前' (Before), '変更後' (After), '更新日時' (Update Date), and 'パス' (Path). The table contains two rows: 'TestFile_01.txt' and 'TestFile_02.txt', both with '変更後' values of 'TestFile_001.txt' and 'TestFile_002.txt' respectively, and a path of 'J:\TestFolder\'. Below the table, the '文字列の置換' (Text Replacement) section is active, showing '対象文字列' (Target Text) as 'TestFile_' and '置換文字列' (Replacement Text) as 'TestFile_0'. The '置換' (Replace) button is highlighted with a red box. A red arrow points from this button to the '戻る' (Back) button in the right window, which also has a red box around it. The right window shows the same table and settings, but the '戻る' (Back) button is highlighted.

- ・リストに登録後、手でファイル名を変更するなどして、ファイルが存在しない状態で置換をした際場合、エラーメッセージが表示される。その際、赤色でマークされる。

The diagram illustrates an error scenario during file replacement. On the left, the same window as before is shown, with the '置換' (Replace) button highlighted. A red arrow points from this button to the right window. The right window shows the same table, but the first row, 'TestFile_01.txt', is now highlighted in red. The '変更後' (After) column for this row contains the error message '【エラー: ファイルが存在しません】' (Error: File does not exist). The '更新日時' (Update Date) and 'パス' (Path) columns remain the same. The '文字列の置換' (Text Replacement) section is still active. The '戻る' (Back) button is highlighted with a red box. A red arrow points from the '置換' (Replace) button in the left window to the error message in the right window.

3. フォルダ名を変更する場合の手順

フォルダ名を変更するには**固定文字列の置換** or **正規表現**による置換で変更できる。

Step.1) 「フォルダ名の変更」を選択する。

注意) ファイル名の変更⇄フォルダ名の変更 の切り替えを行うとファイルのリストと変更の条件がクリアされる。

注意) 複数のファイルを複数の条件で一気に変更したい場合、条件リストを使用すると便利。

Step.2) 変更したいフォルダをリストに登録する。

- ・Drop フィルタを指定すると、この後で対象となるフォルダをリストにドラッグ&ドロップした際、Drop フィルタの指定条件に一致しないファイルはリストに登録されない。
- ・Drop フィルタはワイルドカードで表現する。('*' '?' '[' ']' など)
- ・フィルタが '*' の場合、全てのファイルが対象となる。
- ・特別に変更するファイルの種類などが決まっている場合、「AAA*」などと指定しても良い。
- ・条件が複数の場合、「AAA*;BBB*」など「;」で区切る。
- ・フィルタの指定は大文字/小文字は**区別しない**。
- ・テキストボックスで右クリックすると例題がポップアップメニューで表示される。

- ・「フォルダ名の変更」を選択した状態でフォルダをドラッグ&ドロップした場合、そのフォルダの直下にあるフォルダのうち、フィルタに一致した全てのフォルダがリストに登録される。
- ・「サブフォルダも含む」を ON の場合、そのフォルダ配下にあるフォルダ配下のフォルダも対象となる。その際、階層の指定も可能。階層：0 の場合、無制限の階層。

- ・「フィルタ」はフォルダをリストにドラッグ&ドロップした時、フィルタの条件に一致するフォルダだけリストに登録させることができる。
- ・「フィルタ」欄で右クリックすると例が表示される。

- ・リストに登録されたフォルダの**チェックが ON のフォルダだけが**、置換の対象となる。
- ・登録されたフォルダをリストから削除したい場合、フォルダを選択した状態で **[Delete]** キーを押すとリストから削除できる。

Step.3) 置換したい文字列を設定する。

◆「固定文字列置換(簡易的な置換)」を選択した場合

- ・フォルダ名の該当文字列をそのまま置換する。
- ・文字列はフォルダ名の一部分でも良い。
- ・「リストを更新」ボタンを押すと更新後のフォルダ名が表示される。
- ・「置換」ボタンをファイル名が変更される。

チェック ☒ ▲ ▼ リストを全てを削除

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ TestFolder	AAA_TestFolder	2026/07/05(日) 21:21	J:¥

文字列の置換

☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)

☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)

対象文字列: Test
置換したい文字列の一部を指定

置換文字列: AAA_Test

リストを更新 置換 戻る 閉じる

◆「正規表現による文字列置換(高度な置換)」を選択した場合

- ・正規表現により、フォルダ名を変更できる。
- ・フォルダ名がフォーマットと一致しないと置換できない。
- ・キャプチャした文字列は\$, \$2, ...でフォーマットに挿入できる。
- ・「リストを更新」ボタンを押すと更新後のファイル名が表示される。
- ・「置換」ボタンをファイル名が変更される。

チェック ☒ ▲ ▼ リストを全てを削除

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ TestFolder_01	AAA_TestFolder_01	2026/07/03(金) 08:51	J:¥TestFolder¥

文字列の置換

☐ 固定文字列置換(簡易的な置換)

☒ 正規表現による文字列置換(高度な置換)

正規表現パターン: TestFolder_(\d+)
文字列としての「() { } [] . + * ^ | \$ % ? 」の前には「¥」が必要。
但し、 escapes 文字の場合は自動的に補正される。

置換フォーマット: AAA_TestFolder_\$1

リストを更新 置換 戻る 閉じる

- ・「正規表現パターン」欄で右クリックすると例が表示される。

文字列の置換

☐ 固定文字列置換(簡易的な置換)

☒ 正規表現による文字列置換(高度な置換)

正規表現パターン: TestFolder_(\d+)
文字列としての「() { } [] . + * ^ | \$ % ? 」の前には「¥」が必要。
但し、 escapes 文字の場合は自動的に補正される。

置換フォーマット: AAA_TestFolder_\$1

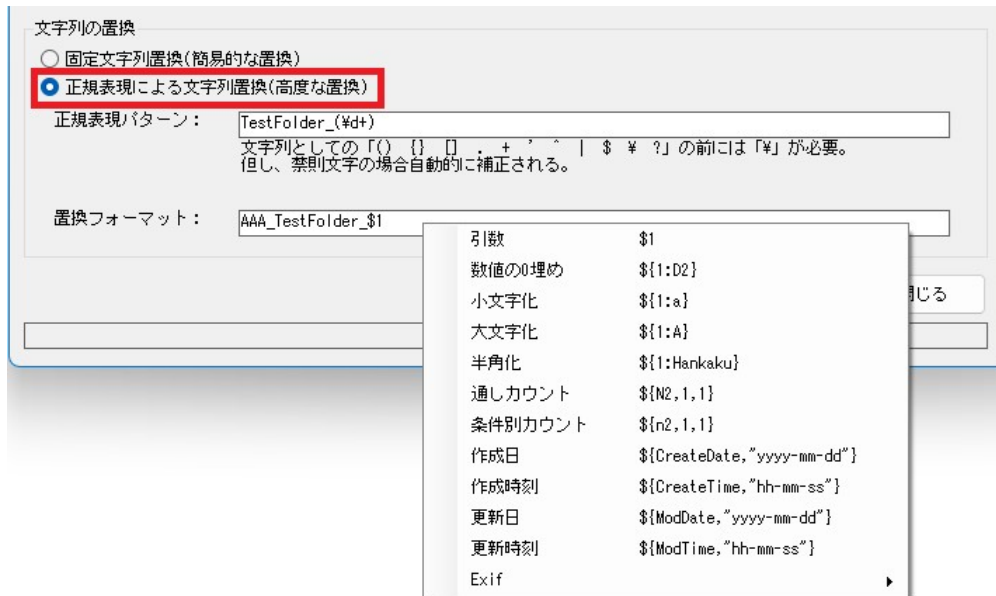
全ての文字列(最長一致) (.*)
数字 (\d+)
全ての括弧子 ¥.([^\.]*)\$
複数の括弧子 ¥.(?i)(jpg|jpeg)\$

リストを更新 置換 戻る 閉じる

リスト	挿入文字列	説明
全ての文字列(最長一致)	(.*)	全ての文字列が対象
数字	(\d+)	数字が対象
全ての拡張子	¥. ([^.]*)\$	「.」+全ての拡張子 ※フォルダ名の変更では基本使わない
複数の拡張子	¥. (?i) (jpg jpeg)\$	「.」+「jpg」or「jpeg」の拡張子 (大文字/小文字を区別しない) ※フォルダ名の変更では基本使わない

注意)「全ての拡張子」「複数の拡張子」の指定はできるが、通常はフォルダ名の変更では使用しない。

・「置換フォーマット」欄で右クリックすると例が表示される。



リスト	挿入文字列	説明
引数	\$1	\$1 に格納されている文字列
数値の0埋め	\${1:D2}	例は\$1 に格納されている文字列が 全て数値 の場合、2桁の0埋め この条件に合わない場合、\$1 の文字列のまま
小文字化	\${1:a}	\$1 に格納されている文字列を小文字化
大文字化	\${1:A}	\$1 に格納されている文字列を大文字化
半角化	\${1:Hankaku}	\$1 に格納されている文字列を半角化 カタカナは対象外
通しカウント	\${N2,1,1}	例は2桁の0埋めで、開始番号=1 で加算=1 でカウント
条件別カウント	\${n2,1,1}	例は2桁の0埋めで、開始番号=1 で加算=1 でカウント ※1 メイン画面から指定はできるが、通常は使用しない
作成日	\${CreateDate, "yyyy-mm-dd"}	Yyyy-mm-dd のフォーマットでファイルの作成日
作成時刻	\${CreateTime, "hh-mm-ss"}	hh-mm-ss のフォーマットでファイルの作成時刻
更新日	\${ModDate, "yyyy-mm-dd"}	Yyyy-mm-dd のフォーマットでファイルの更新日
メーカー (Exif)	\${ExifMaker}	Exif 情報にあるカメラのメーカー名 Exif 情報がない場合空欄 ※2 フォルダ名の変更では使わない
モデル (Exif)	\${ExifModel}	Exif 情報にあるカメラのモデル Exif 情報がない場合空欄 ※2 フォルダ名の変更では使わない
F 値 (Exif)	\${ExifFNumber}	Exif 情報にある撮影時のF 値 Exif 情報がない場合空欄 ※2 フォルダ名の変更では使わない

※1 メイン画面から指定はできるが、通常は使用しない。メイン画面から指定すると通しカウントと同じ。

※2 「Exif」の指定はできるが、通常はフォルダ名の変更では使用しない。

Step.4) 変更後のファイル名を確認する。

- ・変更後のフォルダ名に禁則文字がある場合、全角文字に強制的に変換される。
ただし「/」(半角)は「/」(全角)に変換される。

The screenshot shows the 'File Renamer' application window. At the top, there's a 'チェック' (Check) button and a 'リストを全てを削除' (Delete all list) button. Below is a table with columns: '変更前' (Before), '変更後' (After), '更新日時' (Update Date), and 'パス' (Path). The first row shows 'TestFolder_01' being replaced with 'TestFolder_¥/ : ' < > 01'. Below the table, there's a section for '文字列の置換' (Text Replacement) with two radio buttons: '固定文字列置換(簡易的な置換)' (Fixed text replacement) and '正規表現による文字列置換(高度な置換)' (Regular expression replacement). The '固定' option is selected. The '対象文字列' (Target text) is 'TestFolder_'. The '置換文字列' (Replacement text) is 'TestFolder_¥/ : ' < > 01'. At the bottom, there are buttons: 'リストを更新' (Update list), '置換' (Replace), '戻す' (Reset), and '開じる' (Close). The 'リストを更新' button is highlighted with a red box.

- ・変更後にフォルダ名が空欄になる場合、エラーとなる。
その際、赤色でマークされる。
「置換」ボタンを押すとエラーのフォルダは置換を行わない。

The screenshot shows the 'File Renamer' application window. The table shows 'TestFolder_01' being replaced with an empty string, which is marked with a red background. The '置換文字列' (Replacement text) field is empty. The 'リストを更新' (Update list) button is highlighted with a red box.

- ・変更後のフォルダ名が複数同じになる場合、ファイル名の最後に自動的に「(1)」などの番号が付加される。
その際、黄色でマークされる。
ただし、フォルダの格納先が異なる場合、別番号を振り直す。

The screenshot shows the 'File Renamer' application window. The table shows 'TestFolder_02' being replaced with 'TestFolder_02(1)', 'TestFolder_02', and 'TestFolder_02(1)'. The '置換文字列' (Replacement text) is 'TestFolder_02'. The 'リストを更新' (Update list) button is highlighted with a red box.

- ・リストにはないが変更した結果、既に同じフォルダに同じ名前のフォルダがある状態で置換をした場合、フォルダ名の最後に自動的に「[1]」などの番号が付加される。

チェック ▲ ▼ リストを全てを削除

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ TestFolder_01	TestFolder_02	2026/07/03(金) 08:51	J:\TestFolder¥

文字列の置換
☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)
☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)
 対象文字列: TestFolder_01
 置換したい文字列の一部を指定
 置換文字列: TestFolder_02
 リストを更新 置換

J:\TestFolder には TestFolder_02 が既に存在している状態で置換を行う

チェック ▲ ▼ リストを全てを削除

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ TestFolder_02[1]		2026/07/03(金) 08:51	J:\TestFolder¥

文字列の置換
☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)
☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)
 対象文字列: TestFolder_01
 置換したい文字列の一部を指定
 置換文字列: TestFolder_02
 リストを更新 置換 戻る 閉じる

- ・変更前と変更後のファイル名が同じになる場合、青色でマークされる。

チェック ▲ ▼ リストを全てを削除

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ TestFolder_01	TestFolder_02	2026/07/03(金) 08:51	J:\TestFolder¥
☒ Sub	Sub	2026/07/05(日) 20:45	J:\TestFolder¥

文字列の置換
☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)
☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)
 対象文字列: TestFolder_01
 置換したい文字列の一部を指定
 置換文字列: TestFolder_02
 リストを更新 置換 戻る 閉じる

Step.5) 「置換」ボタンを押す。

- ・「置換」ボタンを押すとフォルダ名が置換が行われる。
- ・「戻る」ボタンを押すと置換前の状態に戻す。

The first screenshot shows the '置換' (Replace) button highlighted with a red box and a red arrow pointing to it. The second screenshot shows the '戻る' (Back) button highlighted with a red box and a red arrow pointing to it. Both screenshots show the '文字列の置換' (Text Replacement) dialog box with the '固定文字列置換' (Fixed Text Replacement) option selected. The '対象文字列' (Target Text) is 'TestFolder_' and the '置換文字列' (Replacement Text) is 'AAA_TestFolder_'.

変更前	変更後	更新日時	パス
TestFolder_01	AAA_TestFolder_01	2026/07/03(金) 08:51	J:\TestFolder\
TestFolder_02	AAA_TestFolder_02	2026/07/01(水) 13:16	J:\TestFolder\

文字列の置換
☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)
☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)
対象文字列: TestFolder_
置換したい文字列の一部を指定
置換文字列: AAA_TestFolder_
リストを更新 置換

文字列の置換
☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)
☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)
対象文字列: TestFolder_
置換したい文字列の一部を指定
置換文字列: AAA_TestFolder_
リストを更新 置換 戻る 閉じる

- ・リストに登録後、手でフォルダ名を変更するなどして、フォルダが存在しない状態で置換をした際場合、エラーメッセージが表示される。その際、赤色でマークされる。

The first screenshot shows the '置換' (Replace) button highlighted with a red box and a red arrow pointing to it. The second screenshot shows the '戻る' (Back) button highlighted with a red box and a red arrow pointing to it. Both screenshots show the '文字列の置換' (Text Replacement) dialog box with the '固定文字列置換' (Fixed Text Replacement) option selected. The '対象文字列' (Target Text) is 'TestFolder_' and the '置換文字列' (Replacement Text) is 'AAA_TestFolder_'.

変更前	変更後	更新日時	パス
TestFolder_01	AAA_TestFolder_01	2026/07/03(金) 08:51	J:\TestFolder\

文字列の置換
☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)
☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)
対象文字列: TestFolder_
置換したい文字列の一部を指定
置換文字列: AAA_TestFolder_
リストを更新 置換

文字列の置換
☒ 固定文字列置換(簡易的な置換)
☐ 正規表現による文字列置換(高度な置換)
対象文字列: TestFolder_
置換したい文字列の一部を指定
置換文字列: AAA_TestFolder_
リストを更新 置換 戻る 閉じる

手動でファイル名を変更

4. 条件リストでファイル名を変更する場合の手順

複数の置換条件を設定して、複数のファイル名 or フォルダ名をまとめて置換できる。

- ・置換条件は最大 **16 条件**まで設定できる。
- ・置換リストの上から順番に処理を行う。
- ・置換条件の設定方法はファイル名/フォルダ名の変更と同じ。
- ・マクロのリストは **DataGridView** で表示される。

◆ DataGridView の取り扱い

- ・DataGridView は取り扱いが特殊。基本的な扱い方は以下の通り。
- ・一番下にある行を**新規入力行**と呼ぶ。この行にはデータは設定できない。
- ・それより上にある行を**データ行**と呼ぶ。この行にデータを設定する。
- ・先頭にある列を**行ヘッダ**と呼ぶ。この列のセルをクリックすると行が選択状態になる。選択された状態で [Delete] キーを押すと、行を削除できる。

↑ 行ヘッダ

- ・データ行を追加する

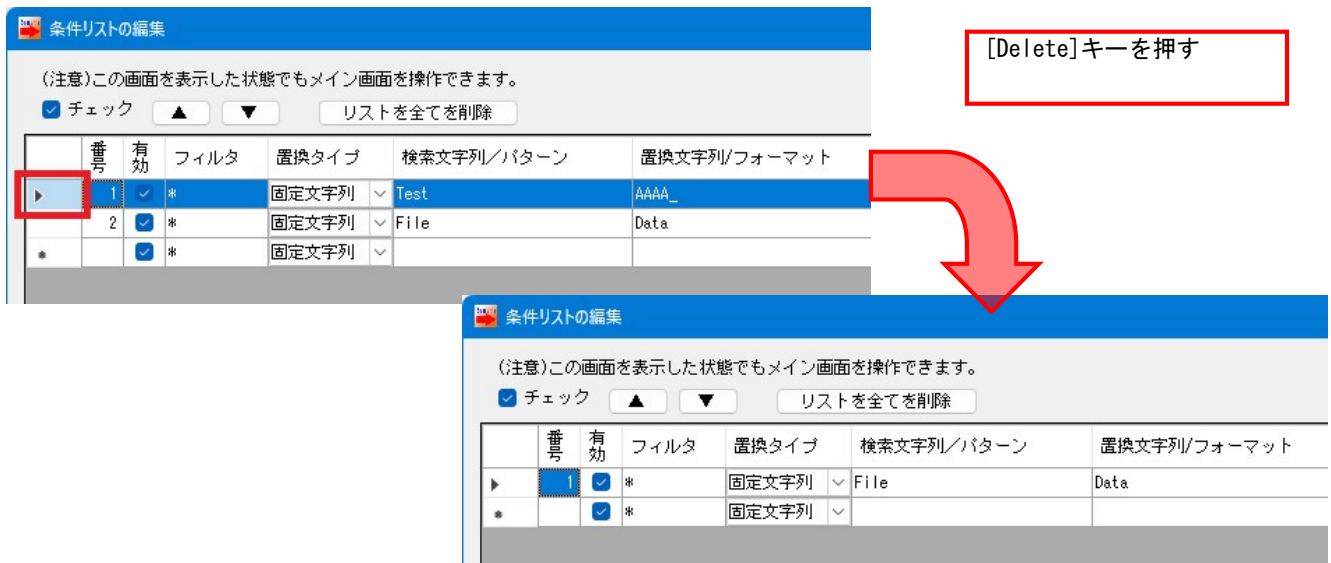
初期状態では新規入力行しかない。どのセルでも良いので何か変更するとデータ行が追加される。例として置換タイプを変更すると、データ行が追加している。

Condition List Editing

番号	有効	フィルタ	置換タイプ	検索文字列/パターン	置換文字列/フォーマット
1	✓	*	固定文字列		
2	✓	*	固定文字列		
3	✓	*	固定文字列		

- ・データ行の1行を削除する

削除した行の行ヘッダをクリックすると、その行が選択状態になる。
この状態で[Delete]キーを押すと、その行が削除される。



◆ Switch 処理

- ・この機能は複数の置換条件で複数のファイル名/フォルダ名を変更するときに使用する。
- ・条件を追加したら、「適用」ボタンを押して、条件リストの内容を登録する。
- ・条件リストは Switch 文として処理される。
どの条件が適用されるかは変更前と変更後で名称が変わっているかどうかで判定する。
条件に一致しない場合、変更がない為、次の条件で判定する。
条件によりファイル名/フォルダ名が変更になったら、それ以後の条件は無視する。
- ・条件フィルタは基本的に「*」が良い。
意図しない条件で変換されないようにしたいときに使用する。

例) 以下のファイルをそれぞれのフォーマットで変更する

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| ・BBBB_第6回_2026年7月4日(土).mp4 | ⇒ BB_06_20260704.mp4 |
| ・BBBB_第6回_2026年7月4日(土)_議事録.txt | ⇒ BB_06_20260704_議事録.txt |
| ・TestFile_001.txt | ⇒ フォーマットに該当しない為変更なし |
| ・AAAA_第2回_2026年7月3日(金).mp4 | ⇒ AA_02_20260703.mp4 |
| ・AAAA_第2回_2026年7月3日(金)_議事録.txt | ⇒ AA_02_20260703_議事録.txt |

対象
☒ ファイル名の変更 ☐ フォルダ名の変更

条件リスト
☐ 利用しない ☒ 利用する **編集**

☐ サブフォルダも含む 階層: Dropフィルタ:

☒ チェック ▲ ▼ リストを全てを削除

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ BBBB_第8回_2026年7月4日(土).mp4		2026/06/29(月) 19:52	J:\%TestFolder%\Sub%
☒ BBBB_第8回_2026年7月4日(土)_議事録.txt		2026/06/29(月) 19:52	J:\%TestFolder%\Sub%
☒ TestFile_01.txt		2026/06/29(月) 19:52	J:\%TestFolder%\Sub%
☒ AAAA_第2回_2026年7月3日(金).mp4		2026/06/29(月) 19:52	J:\%TestFolder%\Sub%
☒ AAAA_第2回_2026年7月3日(金)_議事録.txt		2026/06/29(月) 19:52	J:\%TestFolder%\Sub%

条件リストの編集

(注意)この画面を表示した状態でもメイン画面を操作できます。

☒ チェック ▲ ▼ リストを全てを削除

番号	有効	フィルタ	置換タイプ	検索文字列/パターン	置換文字列/フォーマット
1	☒	*	正規表現	BBBB_第(\d+)回_(\d+)年(\d+)月(\d+)日((.*)%)(.*)%<[^\.]+>\$	BB_\${1:D2}_\${2:D2}\${3:D2}\${4:D2}\$6.\$7
2	☒	*	正規表現	AAAA_第(\d+)回_(\d+)年(\d+)月(\d+)日((.*)%)(.*)%<[^\.]+>\$	AA_\${1:D2}_\${2:D2}\${3:D2}\${4:D2}\$6.\$7
*	☒	*	固定文字列		

適用 閉じる

☒ チェック ▲ ▼ リストを全てを削除

変更前	変更後	更新日時	パス
☒ BBBB_第8回_2026年7月4日(土).mp4	BB_06_20260704.mp4	2026/06/29(月) 19:52	J:\%TestFolder%\
☒ BBBB_第8回_2026年7月4日(土)_議事録.txt	BB_06_20260704_議事録.txt	2026/06/29(月) 19:52	J:\%TestFolder%\
☒ TestFile_01.txt	TestFile_01.txt	2026/06/29(月) 19:52	J:\%TestFolder%\
☒ AAAA_第2回_2026年7月3日(金).mp4	AA_02_20260703.mp4	2026/06/29(月) 19:52	J:\%TestFolder%\
☒ AAAA_第2回_2026年7月3日(金)_議事録.txt	AA_02_20260703_議事録.txt	2026/06/29(月) 19:52	J:\%TestFolder%\

文字列の置換
☐ 固定文字列置換(簡易的な置換)
☒ 正規表現による文字列置換(高度な置換)

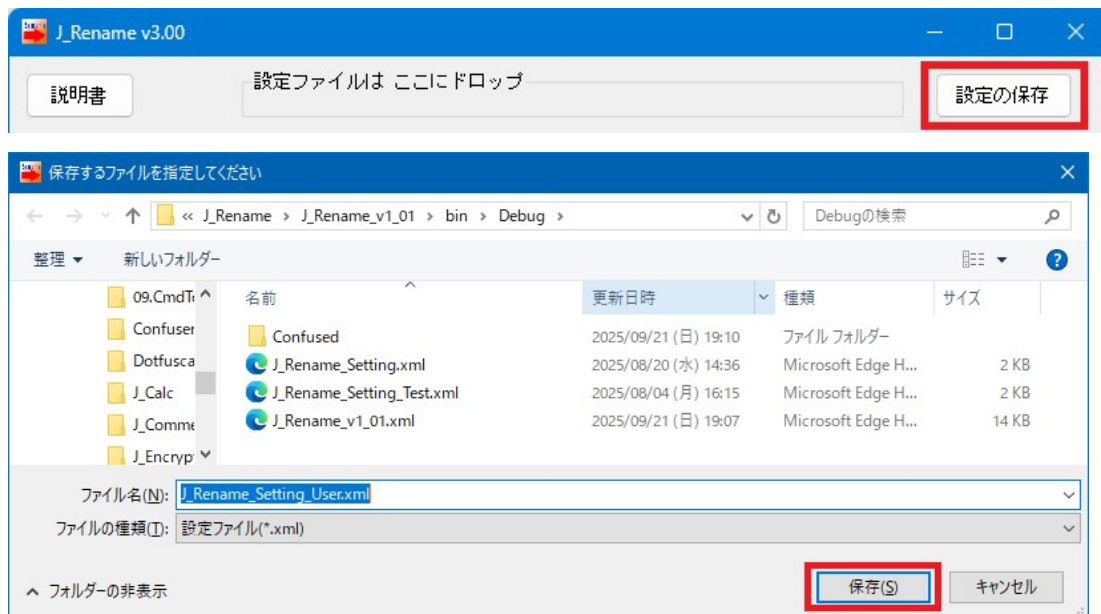
正規表現パターン:

置換フォーマット:

リストを更新 置換 戻す 閉じる

5. 設定ファイル

- 1) 起動時に exe ファイルと同じフォルダにある「J_Rename_Setting.xml」の設定内容がデフォルトとして反映される。
- 2) 「設定の保存」ボタンを押すと、現在の設定を保存することができる。
デフォルトで「J_Rename_Setting_User.xml」というファイル名になっているが、
「J_Rename_Setting_XXX.xml」の「XXX」は自由に変更しても良い。



- 3) 「J_Rename_Setting_XXX.xml」のファイルをドラッグ&ドロップすると設定が反映される。

